

## ◆ 立教大学アジア地域研究所メンバー紹介

2004年度～2005年度の所員ならびに委嘱研究員・準研究員は以下のメンバーです。

❖ 所員		
氏名	所属	主要研究テーマ
[所長] 須永 徳武	立教大学経済学部経営学科	日本植民地経済史
秋野 晶二	立教大学経済学部経営学科	エレクトロニクス産業における技術と生産システム
マーク・カプリオ	立教大学法学部国際・比較法学科	20世紀の日朝関係
服部 孝章	立教大学社会学部社会学科	デジタル化とメディア規制
林 倬史	立教大学経済学部経営学科	研究開発管理と知識創造のメカニズム
弘末 雅士	立教大学文学部史学科	東南アジア島嶼部の宗教社会史及び海洋交易史（国際シンポジウム・Proceedingsにて発表）
細井 尚子	立教大学社会学部社会学科	パフォーマンスにおける空間移動の表現、伝統的パフォーマンスの伝承システム
五十嵐 暁郎	立教大学法学部政治学科	日本政治思想史
松田 宏一郎	立教大学法学部政治学科	近世・近代日本政治思想の比較思想史的研究
大橋 健一	立教大学観光学部観光学科	観光現象の文化人類学的研究、ローカル・エスニック・コミュニティの国際動態比較研究、アジアにおけるホテルの社会史研究
豊田 由貴夫	立教大学文学部史学科	太平洋地域における伝統とその変容

## ❖ 研究員－research fellow－

氏名	所属	主要研究テーマ
青柳 真智子	茨城キリスト教大学	文化人類学
池田 慎太郎	広島市立大学国際学部	日本政治外交史。戦後沖縄史。
石澤 良昭	上智大学アジア文化研究所	東南アジア史 カンボジア史・アンコール遺跡研究
市川 哲		文化人類学。東南アジアとオセアニアにおける華人社会のグローバル化とローカル化
岩田 晋典	明海大学講師	南米スリナム社会におけるアジア系及びアフリカ系住民のエスニシティ
岩本 洋光	University of Papua New Guinea (パプアニューギニア)	日本・オセアニア関係史。パプアニューギニアにおける太平洋戦争の研究。
上田 信	立教大学文学部史学科	中国生態環境史
梅原 弘光	元立教大学文学部教授・前所長	フィリピン農村研究
大海 篤子	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター	女性と政治、女性政策。
大橋 由美		清朝小字（『説文解字』を中心とする古典中国語学）
岡 晋	国立民族学博物館 総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程	東南チベットから東アジアにかけての人類学的研究。
越智 敏夫	新潟国際情報大学情報文化学部	現代政治理論、アメリカ政治論
郭 洋春	立教大学経済学部経済学科	(1) 開発途上国、特にアジアの経済開発とそれに関わる問題、(2) グローバリゼーションが世界経済、特にアジア経済に及ぼす影響
河合 博子	立教大学ビジネスデザイン研究科	情報技術のマネジメント。インドのIT関連のイノベーション。
金 良淑	立教比較文明学会	済州島出身一世女性の生活誌。済州島巫俗。

金 恩漢	韓国	舞踊史、舞踊人類学、比較芸術学、民俗学。現在の研究：「創作能力開発のための教育プログラム試案」「伝統芸能における伝承と現代的様相」「舞踊劇<砂道城物語>を通してみる崔承喜の舞踊」
金 斗昇	在米中（立教大学法学部）	外交史・池田政権期の日韓関係
栗田 和明	立教大学文学部史学科	タンザニアのニアキュウサ人とマサラウィのンコンデ人の関係
香原 志勢	立教大学名誉教授	顔や身体各部位の文化、社会への適応（仮面、箸などの生活用具、農具などの生産用具）
小西 正捷	元立教大学文学部教授・同名誉教授	インド基層文化の考古学・民族学的研究
酒井 順子		オーラルヒストリー、在英日本人女性の戦後史、比較社会史
佐藤 壮広	立教大学社会学部講師	宗教人類学・宗教社会学。「現代沖縄のグローバル化とアイデンティティ」の諸相について。
白坂 蕃	立教大学観光学部観光学科	東南アジアの hill station（特にマレーシア）、焼き畑（特に中国）など
関根 光宏	武蔵丘短期大学	文化人類学。インド・西ベンガル・トリをフィールドとして職人カーストの生活世界を明らかにする。
高原 明生	立教大学法学部政治学科	中国の都市コミュニティ、東アジア共同体
樋谷 智子		パプアニューギニアにおける開発と伝統文化の関係についての分化人類学的研究
豊田 雅幸	立教学院資料センター	日本近現代史、日中関係史、大学史。中国における対日戦犯裁判に関する研究
永井 均	広島市立大学広島平和研究所	日比関係史における戦争犯罪問題
永井 博子	アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）	フィリピン農村研究。近著『フィリピン農村の文化誌：米とパイナップルと椰子酒』（編集・発行＝WAVEtheFLAG、2004年）
朴 原模	韓国国立文化財研究所芸能民俗室	民俗芸能。特に韓国と日本の神事芸能に関する比較研究
将邑 劍平	明治大学政治経済学部	中国語音韻史。元明時代呉方言の研究。
増田 昭子		民俗学（食文化、雑穀分化、沖縄の祭り）と食文化・農業）
舩谷 鋭	立教大学社会学部産業関係学科	地域研究（東南アジア） 華僑華人文学
松平 誠	立教大学名誉教授	生活文化論
溝尾 良隆	立教大学観光学部観光学科	「地域（都市・農山村）の魅力」について
森川 真樹	東京大学工学部 大西・城所研究室	パキスタン都市部におけるスラム開発と都市計画の効果的連携について
吉次 公介	沖縄国際大学	戦後日本外交史。特に1950-60年代の日米安保

## ❖ 準研究員－research associate－

氏名	所属	主要研究テーマ
大塚 直樹	立教大学大学院文学研究科	人文地理学。土地権から見たメコンデルタ村落社会における人々の生活戦略—その歴史地理学的な考察
佐藤 誠	立教大学大学院文学研究科	文化人類学、南アジア地域研究、インド東部オリッサ州における布の人類学的研究
白坂 直子	立教大学大学院文学研究科	人文地理学、観光地理学。インドネシアにおける観光開発の展開と地域変容について
フォードロフ・パーベル	立教大学大学院法学研究科政治学専攻	日ソ・日露関係
森 仁志	東京大学大学院総合文化研究科	文化人類学。ハワイ日系人のコミュニティ。
八幡 綾	立教大学大学院文学研究科	『「近代化」の進展と「伝統」を継承すること』というテーマで、西インド門前町ナートドワーラーの絵師集ダインについてのフィールドワーク

## ■ 研究所日誌－2004年度前期 ■

- |  |   |
|--|---|
| <p>04・22 第1回総合研究センター委員会</p> <p>04・10 公開公演・講演会「北インドの舞踊『カ<br/>タック』の伝統 — パキスタンの舞踊<br/>家によるレクチャー・デモンストレー<br/>ション」：ファシーウル・ラフマーン（カ<br/>タック舞踊家）＋小西 正捷（当研究所<br/>研究員）</p> <p>06・09 第1回所員会議</p> <p>06・15 「JAZZ NIGHT AT RIKKYO 6TH」<br/>Piano/Mike Molasky、Bass/ 米木康志、<br/>Drums/ 原大力</p> <p>06・11, 18, 22, 07・1<br/>国際センター招聘研究員4回連続セ<br/>ミナー「ジャズの普及とグローバリゼ<br/>ーション—日本のジャズ受容の歴史か<br/>ら見えるもの」：Michael Molasky 氏<br/>（ミネソタ大準教授）/「植民地支配と</p> | <p>軍事占領によるジャズ普及 — 戦前の<br/>上海、戦後の日本」「ジャズと映画：<br/>1958年を中心に」「ジャズ喫茶再考」<br/>「日本とフリー・ジャズをめぐる諸問題」</p> <p>06・30 News Letter No.12 発行</p> <p>07・7, 15, 21, 29<br/>国際センター招聘研究員4回連続セミ<br/>ナー「日本映画：演出とイデオロギー」：<br/>マイケル・レイン（シカゴ大助教授）<br/>/「娯楽映画とミーゼンセヌ：「太陽<br/>族」の場合」「増村保造における口語<br/>的（ヴァナキュラー）モダニズム」「松<br/>竹ヌーベル・バーグとストーリー主義<br/>批判」「『反映画』と『政治的モダニズ<br/>ム』：60年代の前衛、アングラ、反体<br/>制」</p> |
|--|---|

### *RUCAAS News letter*

#### 立教大学アジア地域研究所ニュースレター No.13

発行日：2005年1月30日

発行所：立教大学アジア地域研究所

Rikkyo University Centre for Asian Area Studies

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学ミッチェル館

Tel : 03-3985-2581 Fax : 03-3985-0279

e-mail : [ajiken@rikkyo.ac.jp](mailto:ajiken@rikkyo.ac.jp)

<http://www.rikkyo.ne.jp/grp/ajiken/>